

Sun Ray™ Connector for Windows OS Version 1.1 ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-7220-10
2006 年 10 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ray, Sun Ray Connector for Windows OS, Sun WebServer, Sun Enterprise, Ultra, UltraSPARC, Sun Java Desktop System, SunFastEthernet, Sun Quad FastEthernet, Java, JDK, HotJava, Appliance Link Protocol (ALP) は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape は、米国 Netscape Communications 社の商標もしくは登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Ray™ Connector for Windows OS, Version 1.1 Release Notes Part No: 819-6691-10 Revision A
-----	--



目次

新機能 1

推奨パッチ 2

 Xsun のメモリーリーク 2

 Trusted Solaris™ 2

 日本語キーボードに関するパッチ 3

 OpenSSL ライブラリ 3

既知の問題 4

Windows の制限事項 8

マニュアル 8

Sun Ray Connector for Windows OS Version 1.1 ご使用にあたって

Sun Ray™ Connector for Windows OS は、Sun がサポートする、Microsoft 認定の端末サービスクライアントで、Microsoft Remote Desktop Protocol (RDP) バージョン 5.2 に基づいています。これについては、『Sun Ray Connector for Windows OS インストールおよび管理マニュアル』に記載しています。便宜上、Sun Ray Connector for Windows OS を Sun Ray Connector と呼びます。

新機能

Sun Ray Connector for Windows OS Version 1.1 では、セッションディレクトリ機能が実装されました。この機能により、ユーザーは以前に切断した Windows セッションに再接続することができます。IP アドレスとトークンの両方に基づいた再接続がサポートされますが、トークンベースの再接続では、Windows ターミナルサーバーでハードウェアベースのロードバランサを使用する必要があります。

注 – Sun Ray Connector Version 1.1 は、特に 2.6 カーネルに基づく Linux ディストリビューションをサポートします。Linux 2.4 カーネルに基づくディストリビューションはサポートされません。サポートされるオペレーティングシステムおよびバージョンは、『Sun Ray Connector for Windows OS 1.1 インストールおよび管理マニュアル』の 7 ページの表 1 に示しています。

推奨パッチ

Sun Ray サーバーに最新の推奨パッチがインストールされていることを確認してください。

Xsun のメモリーリーク

Sun Ray のパフォーマンスに影響する Xsun のメモリーリーク問題は、次のパッチで修正されています。

表 1 Xsun メモリーリークに対するパッチ

オペレーティングシステム / プラットフォーム	パッチ番号
Solaris 9	112785-49 以降
Solaris 10 SPARC	119059-13 以降
Solaris 10 X86	119060-12 以降

Trusted Solaris™

次のパッチにより、ローカルデスクトップマネージャーのショートカットキーの動作が正常になります。

表 2 Trusted Solaris 用のパッチ

オペレーティングシステム / プラットフォーム	パッチ番号
Trusted Solaris 2/04	121545-03 以降

日本語キーボードに関するパッチ

次のパッチにより、日本語キーボードの動作が正常になります。

表 3 日本語ロケールのキーボード用パッチ

オペレーティングシステム / プラットフォーム	パッチ番号
Solaris 8 SPARC	111075-05 以降
Solaris 9 SPARC	113764-04 以降

OpenSSL ライブラリ

Sun Ray Connector は、OpenSSL ライブラリに依存します。Sun Ray Connector を正常に動作させるには、OpenSSL ライブラリがインストールされている必要があります。便宜を図るため、Solaris 8 および Solaris 9 プラットフォームで必要なバージョン、および OpenSSL ライブラリが依存する libgcc パッケージは、リリースイメージの Supplemental セクションに含まれています。サポートされているほかのすべてのプラットフォームで、必要なバージョンがデフォルトによってインストールされます。

既知の問題

ここでは、最新の既知のバグとその他の問題を報告します。また、回避方法がある場合は、合わせて提示します。

認証動作に関する注意

uttsc コマンド行では、ユーザー名とパスワードのオプションがスマートカード認証よりも優先されます。したがって、`-r scard`、`-u`、および `-p` のオプションを uttsc コマンド行で同時に使用すると、ユーザー名とパスワードのオプションがスマートカード認証よりも優先されます。

バグ ID 6350227

プリンタモデルに汎用 PostScript が選択されている場合は、一部のプリンタで Windows セッションからの印刷が機能しません。ただし、プリンタの具体的なモデルが選択されていれば、印刷は正しく機能します。

バグ ID 6350936

Windows アプリケーションからオーディオおよびビデオを再生すると、uttsc によって CPU が過度に (約 50%) 消費されます。

バグ ID 6359564

次のすべての条件が当てはまる場合、ホットデスクを行ったときに画面が黒く表示されます。

- CDE を Solaris のデスクトップマネージャーとして使用する
- `-m` オプションを使用するなどして、Sun Ray Connector を全画面モードにする
- 画面ロックを有効にする

回避方法は、画面がロックされていない場合でも、ユーザーのパスワードを入力して画面のロックを解除することです。これによって、セッションが正しく表示されます。

バグ ID 6360175

Windows 2000 に付属するいくつかのスクリーンセーバーには、多くのアニメーションが含まれています。Windows 2000 のスクリーンセーバーが動作している Sun Ray Connector のセッションは、Sun Ray サーバーの CPU を過負荷の状態にする可能性があります (Sun Ray Connector および X サーバーは高い CPU 使用率を示します)。この問題は Solaris 8 上でのみ発生します。

この問題の解決方法は、ユーザーセッションでこれらのスクリーンセーバーを使用しないことです。Terminal Services のセッション中にスクリーンセーバーを無効にする方法についての情報は、Windows のマニュアルを参照してください。

バグ ID 6361417

特定のシナリオにおいて、シリアルポートを Windows ターミナルサーバーにリダイレクトすると、Sun Ray サーバーの CPU が最大で 99% 消費される場合があります。

バグ ID 6363133

いったんコピー&ペースト操作を実行すると、それ以降同じ dtterm ウィンドウから Windows アプリケーションへ行うコピー&ペースト操作で、常に最初に行なった操作のデータが示されます。

バグ ID 6372917

StarSuite のバグにより、カット&ペーストメニューのオプションが、StarSuite アプリケーションからの転送で正常に機能しません。

この問題を回避するには、メニューオプションを使用する代わりに Ctrl-C および Ctrl-V を使用して、カット&ペーストの操作を実行します。

バグ ID 6382038

Sun Ray のセッション dtppad から Windows アプリケーションへのカット&ペーストは機能しません。

バグ ID 6383162

Windows アプリケーションがアクセスしている間に Sun Ray DTU から USB ディスクを削除すると、Sun Ray サーバーに無効なマウントポイントが残ります。

バグ ID 6394230

ユーザーが Linux または Linux デスクトップのウィンドウで入力を行なっているときに、マウスポインタを Sun Ray Connector ウィンドウに移動すると、Unix / Linux デスクトップのフォーカス動作の設定にかかわらず、キーストロークは Connector ウィンドウに入力されます。つまり、ウィンドウをマウスでクリックしたときにのみ入力フォーカスがそのウィンドウに移動するように設定していても、すべてのキーストロークは Sun Ray Connector ウィンドウに登録されます。

コネクタが -k オプションを指定して起動されている場合は、この問題は発生しません。

バグ ID 6404368

デフォルトでは、Sun Type6 日本語キーボードが認識されません。

この問題を回避するには、-k "sun(type6jp)" オプションをつけて、uttsc もしくは uttscwrapper を起動してください。次はその例です。

```
% uttsc -k "sun(type6jp)" windows-server.sun.com
```

バグ ID 6408886

uttsc または uttscwrap を、日本語ロケールでコマンド行オプションを指定せずに実行した場合、MS-IME が有効になりません。

uttsc または uttscwrap に、オプション -l ja:IME を指定して実行してください。次はその例です。

```
% uttscwrap -l ja:IME
```

バグ ID 6422308

Trusted Solaris プラットフォームでは、Windows アプリケーションと Sun Ray アプリケーション間でのカット&ペーストとコピー&ペースト操作は機能しません。

バグ ID 6425188

Trusted Solaris 環境で、ユーザーが Sun Ray Connector 経由で印刷を行う場合、プリンタのユーザーアクセスリストが受け入れられません。プリンタが特定のラベルに対して構成された後、そのラベルのユーザーだけがプリンタにアクセスしている場合は、この問題が軽減される場合があります。

バグ ID 6456219

Sun Ray Connector のセッションの実行中に、ユーザーが別の DTU に対してホットデスクを行うと、Unix (Linux または Solaris) のセッションがロックしないことがあります。また、Windows のセッションでキーボードが機能しなくなり、マウスポインタが表示されなくなる場合があります。

これを回避するには、Sun Ray サーバーにログインし、Windows Connector プロセスを終了します。ユーザーが次回 Sun Ray Connector を使用して Windows ターミナルサーバーにログインすると、Windows セッションは元のままになります。

バグ ID 6470198

ユーザーが別の DTC に対してホットデスクを行い、Windows セッションと Unix デスクトップとの間でコピーまたはペーストを行なった場合、Sun Ray Connector が Trusted Solaris 8 上でクラッシュする可能性があります。

この問題は、Trusted Solaris 8 以外のすべてのサポートされている Solaris プラットフォームではすでに修正されています。必要なパッチは、『Sun Ray Connector for Windows OS バージョン 1.1 インストールおよび管理マニュアル』の7ページの「インストール要件」に一覧表示されています。Trusted Solaris 8 での解決方法は、まもなく提供される予定です。

Windows の制限事項

Windows 2000 上では、次の機能はサポートされません。

- オーディオ
- ドライブのマッピング
- シリアルポートの切り替え
- セッションディレクトリ
- スマートカードの切り替え

マニュアル

この製品の最新のマニュアルは、docs.sun.com で入手できます。